

令和7年度

現地研修会 開催応募要項

公益財団法人 地域社会振興財団

<https://www.zcssz.or.jp/>



現地研修会のご案内

現地研修会は、地方公共団体等が推進する「健やかな地域社会づくり」に寄与するため、地域住民の皆様をはじめ保健・医療・福祉事業等に携わる方々を対象として、昭和58年(1983年)から開催しております。都道府県・市区町村の保健、医療、福祉関係機関及び当該推薦機関が企画し、ご応募いただいた研修会の中から採択した研修会を支援しております。これまで延べ521回開催したところ、お蔭様で大変好評をいただいております。令和6年度には地域医療、子育て支援等の研修会を計14回開催しております。⇒7ページ参照

研修会の開催に際しましては、当財団の予算の範囲内で開催経費を負担いたしますので、多くの自治体等からのご応募をお待ちしております。

▼第509回 栃木県下野市



▼第513回 福岡県大牟田市



▼第515回 和歌山県紀美野町



▼第516回 岩手県一関市



目次

■公益財団法人 地域社会振興財団の概要	1
■現地研修会の応募について	
1 応募要件	3
2 採否の決定	4
3 研修会開催にあたって	4
4 当財団で負担する開催経費	4
5 経費に係る事務処理	5
6 研修会開催後に提出いただく書類	6
現地研修会開催状況	7
■様式	
【応募様式1】令和7年度現地研修会開催申込書	10
【応募様式2】講師関係名簿	11
【応募様式3】開催経費内訳書	12
【応募様式4】日程表	13
【応募様式4】日程表見本	14
【報告様式1】現地研修会実績報告書	15
【報告様式2】収支計算書	16
【報告様式3】参加者名簿	17
【報告様式4】アンケート	18
【報告様式5】講師謝金・旅費銀行振込依頼書	19
【報告様式6】立替金請求書	20
■見本	
テキスト表紙見本	21
公益財団法人 地域社会振興財団の紹介(テキストに使用)	22 ~ 24
看板見本	25
■中央研修会のご案内	26

公益財団法人 地域社会振興財団の概要

設立の趣旨

地域社会振興財団は、へき地などの地域社会がかかえる保健・医療・福祉等の諸問題について基礎的・総合的な研究を行い、そこで生活する人々が生きがいをもって健やかに暮らすことが出来る地域社会づくりに貢献し、地方自治の基盤の充実に寄与することを目的として、昭和47年12月に「財団法人へき地振興財団」の名称で設立されました。

以来、経済社会の動向を見つめながら、高齢化対策に積極的に取り組んでいる地方公共団体を支援するため、長寿社会づくりソフト事業費交付金交付事業を創設し、これを機に名称を平成元年4月に「財団法人地域社会振興財団」と改め、その後公益財団法人制度改革に伴う公益法人への移行認定を受けて、平成25年4月から「公益財団法人地域社会振興財団」として新たにスタートしました。

また、令和4年4月より、これまで30年以上実施していた長寿社会づくりソフト事業費交付金を改め、「人生100年時代づくり・地域創生ソフト事業交付金」とし、新たに少子化対策や地域創生の施策を実施する地方公共団体に対し、さらなる地域社会の基盤強化を拡充するためのソフト事業を支援しています。

今後もより一層、設立時の趣旨を踏まえつつ、地域社会における保健・医療・福祉の分野でのさまざまなニーズに応えるべく事業の充実に向けて邁進します。

事業概要

栃木県から発行される「地域医療等振興自治宝くじ」通称「レインボーくじ」の収益金を財源として次の事業を行っています。

◆ 調査研究事業(公益目的事業1)

へき地など地域住民の疾病の特異性、病態生理とその原因等を明らかにし、それに対する有効な対策等を行うため「地域社会健康科学研究所」を設置し、環境医学研究部門、血液医学研究部門、保健科学研究部門、健康福祉計画研究部門、病態生理研究部門、情報システム研究部門の6研究部門及び実験医学センター並びにさいたま支所を置き、基礎的・総合的な調査研究を行うほか、同地域における少子高齢化の進展に対応した保健・医療・福祉に係る諸施設を支援するための事業です。

また、当研究所の調査・研究事業に必要な研究機器は、「難病及び希少難病に関する研究等」として、公益財団法人JKAからの補助金(競輪公益資金)により整備され、使用されています。

なお、整備された研究機器について、当研究所内において有効的に活用され、それらの研究成果については、毎年度「地域社会健康科学研究所報告集」として冊子化し、各都道府県等に配付しています。

◆ 研修事業(公益目的事業2)

当財団では、自治医科大学と密接な連携のもとに各種研修会(中央研修会と現地研修会)を合せて年間30回程度開催しています。

また、地域住民を対象とした保健・医療・福祉等に関する意識向上のための研修や、地域医療が抱える様々な問題とその解決策を医療従事者等と地域住民とともに考え討議するフォーラムやシンポジウムを開催しています。

<中央研修会>

当研修会は、地域社会において保健・医療・福祉事業に携わる方々が、最新の医学知識と医療技術を習得することにより、地域住民が安心して生活することができることを目的に開催しています。

講師には、自治医科大学の教職員及びそれぞれの分野において活躍されている方々を招き、最新の医療情報の講義や技術の向上を図るための演習等を実施しています。

<現地研修会>

当研修会は、地方公共団体等が推進する健やかな地域社会づくりに寄与することを目的に、地域住民の方々や地域社会において、保健・医療・福祉事業に携わる方々を対象として、保健・医療・福祉事業に関するテーマで、当該団体と当財団が共催の形を取り全国各地で開催しています。

<健康福祉プランナー養成塾>

地域住民の社会福祉・介護サービスを構想し、運営するコミュニティ・リーダーの育成を目的に、健康福祉行政等の企画立案に携わる地方公共団体等の保健師、医師、事務職員等を対象に、保健・医療・福祉に関する専門知識の理解と、優れた企画立案能力を習得するため、職種横断的な研修会を開催しています。

<地域医療を考える県民フォーラム>

深刻化する医師不足等の地域医療に関する現状及び課題について、行政、医療関係機関、住民等が認識を共有し、自らの地域のあり得べき地域医療について主体的かつ建設的に考えるフォーラムを開催することによって、開催県における地域医療の充実確保に寄与するとともに、地域が一体となって自らの地域医療について考える全国的なモデル事業としての役割を果たすことを趣旨・目的としています。

<地域医療を守り育てる住民活動全国シンポジウム>

地域医療の課題を解決するためには地域住民の理解・協力などの「住民の力」や住民の主体的活動が重要であること、住民と地方自治体行政との相互理解・協働が不可欠であることを共通の認識とするとともに、住民団体(住民グループ・NPO法人等)同士が全国的に連携を取れるようなネットワークづくりを目的として開催しています。

◆ 交付金交付事業(公益目的事業3)

<人生100年時代づくり・地域創生ソフト事業交付金交付事業>

地方公共団体等が行う「人口減少・少子高齢化の進展に対処するための施策及び東京圏の人口集中を是正し、地方で安心して、子どもを生き育て、暮らすことができる環境を確保するための施策」の実現に資する事業を支援するために交付金を交付しています。

<整備拡充事業費交付金交付事業>

へき地等の地域医療の先駆的な役割を担っている自治医科大学の教育・研究に欠くことのできない施設設備や研究機器などの整備拡充を支援するため、交付金を交付しています。

令和7(2025)年度 地域医療等振興自治宝くじ(レインボーくじ)発売計画

回号	発売期間	発売目的
435	R7/7/9～R7/8/5	全国の人生100年時代づくり・地域創生ソフト事業の財源とするため
436	R7/8/12～R7/9/2	全国の人生100年時代づくり・地域創生ソフト事業の財源とするため
437	R7/9/3～R7/9/23	地域振興等のため設立された学校法人自治医科大学の整備に要する財源とするため
438	R7/10/8～R7/11/4	全国の人生100年時代づくり・地域創生ソフト事業の財源とするため
439	R7/11/5～R7/12/2	地域振興等のため設立された学校法人自治医科大学の整備に要する財源とするため



宝くじ公式サイト



レインボーくじ1枚から社会貢献ができます！
<https://www.takarakuji-official.jp/>

(1) 対象となる研修会

地域社会における保健・医療・福祉に関するテーマの研修会が応募対象となります。具体的には、次の内容をテーマとした研修です。

応募機関内部の職員研修、勉強会、学術集会、町内会等は対象外とします。

① テーマ

(a) 「住民のための生活習慣病対策」をテーマにした研修

地域住民の方々や地域医療に携わる医師、保健師、看護師及び医療技術者など地域医療従事者の方々を対象に、「21世紀における国民健康づくり運動(健康日本21)」に定めた栄養・食生活、身体活動・運動、休養・こころの健康づくり、たばこ、アルコール、歯の健康、循環器病、がん、糖尿病及びCOPD(慢性閉塞性肺疾患)についての治療及び予防などに関する研修や最新情報の提供・事例発表などを交えた研修

(b) 地域住民の方々が、教育講演等を通じて、自らの健康への関心を高めるための研修

(c) 地域社会において保健・医療・福祉事業に携わる方々に、それぞれの事業活動を推進するにあたって必要となる技術及び情報の提供を行い、関係機関の連携を深めるための研修

(d) 地域医療に携わる医師、保健師、看護師及び医療技術者など地域医療従事者の方々に、最新の医学知識や技術の提供をすることにより、保健・医療・福祉事業等に寄与できる研修

② 日程(研修期間)

原則1日(4時間程度)とし効率的な日程を組んでください。

なお、開催日時は申請者からの希望日時を優先いたしますが、調整させていただく場合があります。

③ 参加者等

参加者は、地域住民の方々及び保健・医療・福祉に携わるの方々とし、研修内容及び形式(講義形式・演習形式)に応じて、概ね50名以上の参加者を募ってください。

④ 講師

研修内容に適した講師を選出してください。

(2) 応募対象機関

次の①・②いずれかの機関となります。

①都道府県・市区町村の保健・医療・福祉関係機関

②都道府県・市区町村の保健・医療・福祉関係機関が推薦する機関

(②の場合、次のア・イのいずれかが必要です。)

ア 都道府県・市区町村からの推薦状

イ 都道府県・市区町村の保健・医療・福祉関係機関の長からの推薦状

なお、同一団体からの採用は1年度に1件とします。

(3) 応募期間及び相談期間

令和6年度より、以下のとおり応募期間に応じて書類提出に係る相談期間を設けております。

必ず所定の期間内に当財団まで電話またはメールでご相談のうえ、提出書類の確認を受けるようにしてください。

	応募期間	相談期間
第1回目	4月1日(火)～5月30日(金)	4月1日(火)～5月9日(金)
第2回目	6月2日(月)～7月31日(木)	4月1日(火)～7月10日(木)
第3回目	8月1日(金)～9月30日(火)	4月1日(火)～9月10日(水)

【連絡先】 (公財)地域社会振興財団事務局研修係
 電話 0285-58-7436
 メールアドレス genchi@zcssz.or.jp

(4) 応募書類等

次の書類を郵送してください。

- ① 令和7年度現地研修会開催申込書 ……【応募様式1】10ページ
- ② 講師関係名簿 ……【応募様式2】11ページ
- ③ 開催経費内訳書(経費の見積書も提出が必要です) ……【応募様式3】12ページ
- ④ 日程表 ……【応募様式4】13ページ

【宛先】 〒329-0498 栃木県下野市薬師寺3311-160
 (公財)地域社会振興財団事務局研修係 宛

2 採否の決定

各応募期間締切り後、当財団の「研修委員会」において審査し、採否を決定します。
 採否については、各応募期間の締切後、1か月後を目途に応募機関に通知します。

3 研修会開催にあたって

研修会の具体的な内容、開催までのスケジュールなどの確認について、お電話・メール等で打合せを行います。研修形式は原則として集合型研修としますが、オンライン研修も可能です。オンライン研修を希望される場合はその旨お知らせください。なお、研修会は2月末日までに開催してください。

4 当財団で負担する開催経費

研修会に係る下記の開催経費は、当財団の予算の範囲内で開催経費を負担いたします。
 ただし、次の(1)から(3)の講師謝金、旅費、講師自らが支払いをした場合の宿泊費については、所得税分として10.21%を源泉徴収して支給します。

(1) 講師謝金〈科目:諸謝金〉

当財団講師謝金基準に基づき支給します。

《参考:支給基準額抜粋》

区分/講義時間	1時間以内	1時間超 2時間以内	2時間超 3時間以内	3時間超 4時間以内	4時間超 5時間以内	5時間超 6時間以内	6時間超 7時間以内
自治医科大学 以外の大学・ 民間・行政	30,000	45,000	60,000	70,000	80,000	90,000	100,000
自治医科大学 及び附属病院 の教職員	15,000	20,000	25,000	30,000	35,000	40,000	45,000

(注) 同一カリキュラムを2人以上の講師が担当する場合は、上表の1/2とする。

(2) 講師旅費〈科目:旅費交通費〉

勤務先から研修会場までの交通費が該当します。ただし、勤務先が自宅の場合、自宅からとなります。

《支給基準》

「国家公務員等の旅費に関する法律」(昭和25年法第114号)に準拠し支給します。

ただし、航空機のファーストクラス等の特別料金、鉄道のグリーン車料金等については対象外となります。航空賃の額は、現に支払った旅費運賃の支給となりますので、必ず領収書をご提出ください。

- (3) 会場使用料及び講師宿泊費(科目:賃借料)
- ① 会場使用料
会場使用料及び講義に使用するマイク、プロジェクターなどの器材使用料が該当します。
研修会場は、原則として公共施設(県・市民文化センター、公民館等)をご利用ください。
- ② 講師宿泊費
講師の宿泊が必要な場合は、主催者が宿泊施設を手配され、当該施設から当財団宛ご請求ください。(講師が宿泊代を支払わないようにしてください。)
《支給基準》
宿泊料の目安 1泊朝食付き 12,000円
※なお、事情により講師自ら宿泊施設に支払いをした場合は、「国家公務員等の旅費に関する法律」(昭和25年法第114号)に準拠し支給します。
- (4) テキスト代・看板製作費(科目:印刷製本費)
研修会で使用するテキスト・資料の作成、および研修会名等を表示した看板作製に係る経費が該当します。
なお、看板製作費の目安は30,000円とし、テキスト・看板ともに、当財団が定めた様式(主催者名及び共催者名の表示など)に基づき作成してください。⇒22~24ページ参照
- (5) 文具品等代(科目:消耗品費)
研修会で使用する文具品等に係る経費が該当します。⇒25ページ参照
文具品等に関しては、当財団まで随時ご相談ください。
- (6) 雑費
講師・挨拶者等の食事代等に係る経費が該当します。目安は1人あたり1,500円とします。
- (7) 通信運搬費
研修会の案内状を送付するときの切手代及び配付資料の宅配便代が該当します。
- 【 開催経費に関する留意事項 】**
- ① 提出された経費概算額に基づき、当財団が負担できる経費について調整させていただくことがありますので、予めご了承ください。
- ② 本研修会に係る経費以外は負担できませんので、他の経費と混合しないようご注意ください。
- ③ 当財団以外の補助を受ける場合及び参加費を徴収する場合には、予めお申し出ください。
- ④ これらの経費に係る事務処理につきましては、次の **5「経費に係る事務処理」**を参照し適正に行ってください。

5 経費に係る事務処理

- (1) 支払方法
次の2通りがありますが、原則として当財団から業者へ直接振り込む方法にしてください。
- ① 当財団から業者等に直接支払う場合
請求書・納品書・見積書を郵送ください。納品書には検収印を押印願います。この際、宛名は必ず「地域社会振興財団」とし、振込銀行名・支店名・預金種目・口座番号・口座名義・名義フリガナを記載願います。経費は銀行振込でお支払いします。
- ② 主催者が立替えて支払う場合
「立替金請求書」(報告様式6)により立替者へ銀行振込でお支払いします。当該領収

書に検収印を押印のうえ添付し郵送ください。ただし、領収書は、課税取引の場合は適格請求書または消費税率・消費税額が明記されたものとし、宛名は全て「地域社会振興財団」としてください。

なお、領収書がない場合、経費のお支払いができませんのでご注意ください。

(参考:支払に関する留意事項・必要書類一覧)

項目	留意事項	必要書類	
		講師・業者への直接払い	主催者の立替払い
講師謝金	所得税として10.21%を源泉徴収して支給します。当財団から講師の自宅あてに、翌年1月に支払調書が送付されることをお伝えください。	講師謝金・旅費銀行口座振込依頼書	
講師旅費	所得税として10.21%を源泉徴収して支給します。	上記と同じ	状況に応じて相談
講師宿泊費	主催者が宿泊施設を手配し、講師が宿泊代を支払わないようにしてください。		立替金請求書 領収書
会場使用料	会場使用料・器材使用料等	請求書	
雑費	講師食事代等		
通信運搬費	案内状・配付資料送付時の切手代、宅配便代		
テキスト代	印刷・コピー等	請求書・納品書・見積書	
看板・文具代等			

(2) 支払予定日

月末締めの翌月末払いとなります。

6 研修会開催後に提出いただく書類

開催終了後、1ヶ月以内に次の書類①から⑩を必要に応じて提出してください。

- ① 現地研修会実績報告書 ……【報告様式1】15ページ
- ② 収支計算書 ……【報告様式2】16ページ
- ③ 参加者名簿 ……【報告様式3】17ページ
- ④ アンケート ……【報告様式4】18ページ
- ⑤ 講師謝金・旅費銀行振込依頼書 ……【報告様式5】19ページ
- ⑥ 立替金請求書(立替ありの場合) ……【報告様式6】20ページおよび領収書
- ⑦ 講師のマイナンバーカードの写し(両面)、または通知カードの写しと併せて運転免許証等の顔写真付公的証明書の写し
- ⑧ テキスト
- ⑨ 研修風景写真
- ⑩ 請求書(内訳が記入されたもの)などの支払い書類、経費内訳

現地研修会開催状況

【令和6年度】

開催月	研修会名・テーマ	開催地	主催
7月	あまみ療育ネットワーク研修会 僕の取扱説明書 ～里親から育ててもらった里子として、障害を持つ当事者として自分の思いを発信します～	鹿児島県 奄美市	あまみ療育 ネットワーク
8月	第12回つるカフェ市民講座 人生最終章の生き方・逝き方・寄り添い方	栃木県 下野市	つるかめ診療所
9月	奈良県高次脳機能障害研修会 高次脳機能障害「見えない障害」を「見える障害」にしよう しっかり見たらきっと見えるはずの高次脳機能障害	奈良県 田原本町	奈良県高次脳機能 障害支援センター
9月	第14回大牟田市立病院周産期研修会 「コロナ禍後の子どもの特徴と出産後からできる発達支援」	福岡県 大牟田市	大牟田市立病院
10月	令和6年度保育園職員研修 ～保育士の資質向上を目指して～	埼玉県 朝霞市	朝霞市保育課
10月	鳥取市立病院第2回とことん学ぶ研修会 「当院の心不全治療 ～うちげの「心臓病サポートチーム」とは？～」	鳥取県 鳥取市	鳥取市立病院
10月	令和6年度奈良県総合リハビリテーションセンター県民公開講座 いきいきとあなたらしく生きる ～リハビリテーションセンターが目指すアプローチ～	奈良県 田原本町	奈良県総合リハビリ テーションセンター
10月	和歌山県 看護職対象 排泄ケアエコーセミナー	和歌山県 紀美野町	紀美野町国民健康 保険国吉診療所
11月	藤沢地域医療セミナー2024 みんなが楽しい地域包括医療・ケア	岩手県 一関市	一関市国民保健 藤沢病院
12月	TP(ティーチング・ポートフォリオ)ステートメント作成講座	熊本県 玉名市	九州看護福祉大学
1月	対象になったら受けなきゃ損！特定保健指導！！ ～今日からできる、生活習慣改善のワンポイントアドバイス～	埼玉県 川越市	川越市 国民健康保険課
2月	「ヒアリングフレイルと認知症」in大和まほろば福祉の集い 認知症になっても住みよい大和村	鹿児島県 大和村	大和村 保健福祉課
2月	第2回こころとからだのセルフマネジメント研究会 不規則な労働と「こころ」と「からだ」の健康	福岡県 宗像市	こころとからだの セルフマネジメント 看護研究会
2月	思春期自殺予防研修会 10代の若者の自傷の理解と対応の原則	佐賀県 唐津市	佐賀県 唐津保健福祉事務所

【令和5年度】

開催月	研修会名・テーマ	開催地	主催
7月	第11回つるカフェ市民講座 イシ決定支援？私の意思はどこにある？ ～関西からあの劇団ザイタクがやってくる！～	栃木県 下野市	つるかめ診療所
9月	第1回こころとからだのセルフマネジメント看護研究大会 睡眠からみる「こころ」と「身体」の健康	熊本県 玉名市	こころとからだの セルフマネジメント 看護研究会
9月	鳥取市立病院 第1回とことん学ぶ研修会 「当院の消化器内視鏡診療 ～うちげなら、ここまでするで！～」	鳥取県 鳥取市	鳥取市立病院
10月	健康づくりマイストーリー運動10周年記念講座 今こそ、大切な健康づくり～病気ほどほど、元気いっぱい～	新潟県 燕市	NPO法人 J-HOPE
10月	令和5年度奈良県総合リハビリテーションセンター県民公開講座 いつもの暮らしを大切に～お子さんから高齢者まで健やかな未来 のお手伝い～	奈良県 田原本町	奈良県総合リハビリ テーションセンター
11月	奈良県高次脳機能障害研修会 高次脳機能障害を理解して、回復のために整えよう注意機能！	奈良県 田原本町	奈良県高次脳機能 障害支援センター
12月	練馬区公立保育所研究会 第4回講演会 運動発達と口の機能発達から最近の子ども達の育ちにくさを考える	東京都 練馬区	練馬区 公立保育所研究会
1月	在宅緩和ケア研修および糖尿病発症予防・重症化予防研修 (1)「元気な今から備えよう！これからの生き方と逝き方」 (2)「糖尿病重症化予防のための運動療法」	宮崎県 宮崎市	宮崎県中央保健所
2月	発達の凸凹を理解して伸ばす 保育士の視点から、生活の中でできる支援を考える	熊本県 玉名市	九州看護福祉大学

【令和4年度】

開催月	研修会名・テーマ	開催地	主催
8月	(地域社会振興財団50周年記念事業) 第10回つるカフェ市民講座 コロナで鍛えた私たちの底力～しなやかに生きる力	栃木県 下野市	地域社会振興財団、 つるかめ診療所
9月	奈良県高次脳機能障害研修会 高次脳機能障害の方を理解するために ～社会的行動障害の特性とその対応方法～	奈良県 奈良市	奈良県高次脳機能 障害支援センター
10月	令和4年度奈良県総合リハビリテーションセンター県民公開講座 家族みんなが健康に！！目指せ！奈良県、健康長寿日本一！	奈良県 田原本町	奈良県総合リハビリ テーションセンター
11月	介護職パワーアップ研修Ⅱ 私たち介護職が元気になる職場を考える	岩手県 一関市	ふじさわ地域包括 支援センター

2月	大牟田市立病院周産期研修会 コロナ禍における子どもの発達と支援	福岡県 大牟田市	地方独立行政法人 大牟田市立病院
----	------------------------------------	-------------	---------------------

【令和3年度】

開催月	研修会名・テーマ	開催地	主催
10月	令和3年度県央在宅緩和ケア研修会 がんになっても、あなたはあなた～できるかぎり自宅での日常を～	宮崎県 宮崎市	宮崎県 中央保健所
11月	元気回復プラン(WRAP)体験クラス 自分の取扱説明書を作成してみよう	熊本県 玉名市	九州看護 福祉大学
11月	あまみ療育ネットワーク発達セミナー みんなで学ぼう、発達支援！	鹿児島県 龍郷町	あまみ療育 ネットワーク
12月	第9回つるカフェ市民講座 コロナが教えてくれた大事なこと ～遠くの名医より近くの???	栃木県 下野市	つるかめ診療所
2月	大牟田市立病院周産期研修会 妊産褥婦を取り巻く家族アセスメント手法	福岡県 大牟田市	地方独立行政法人 大牟田市立病院

【令和2年度】

開催月	研修会名・テーマ	開催地	主催
10月	令和2年度県西在宅緩和ケア研修会 がんとともに生きる～在宅でのがん治療や在宅緩和ケア～	宮崎県 都城市	宮崎県都城保健所

年 月 日

公益財団法人 地域社会振興財団
理事長 大石 利雄 様

機 関 名
所 属 名
役 職 名
責 任 者 名

印

令和7年度現地研修会開催申込書

研 修 会 名				
テ ー マ				
ね ら い				
参加対象者				
参加予定者数	名			
開 催 日	第1希望日	年 月 日 ()	時 分 ~ 時 分	
	第2希望日	年 月 日 ()	時 分 ~ 時 分	
開 催 場 所	名 称			
	所 在 地	(電話)		
担 当 者 *直接事務処理、 事務連絡を行う 方のお名前をご 記入ください。 責任者とは別の 方をお願いします。	勤務機関名			
	所 属 名			
	役 職 名			
	氏 名			
	連 絡 先	住所：〒		
		電話：	Fax：	
E-mail：				

【講師関係名簿】

講師名	
勤務機関名	
所属名	
役職名	
連絡先	〒
	電話
講義題名	
講義時間	
研修形式	
講師選定理由	

講師名	
勤務機関名	
所属名	
役職名	
連絡先	〒
	電話
講義題名	
講義時間	
研修形式	
講師選定理由	

【開催経費内訳書】

科 目	金 額	内 訳
諸 謝 金 (講師謝金)	円	
旅 費 交 通 費 (講師旅費)	円	駅すばあと等の算出根拠を添付してください。
賃 借 料※	円	会場使用料・器材使用料
	円	講師宿泊料
印 刷 製 本 費※	円	テキスト代・ポスター代・チラシ代・看板代
消 耗 品 費※	円	文具品等
委 託 費※	円	
雑 費	円	講師等食事代 (@ × 人)
通 信 運 搬 費※	円	切手代・宅配便代 送付先内訳表(様式自由)を添付してください。
合 計	円	

※の付いているものについては、見積書を添付してください。

*当財団以外の助成を受ける場合及び参加費を徴収する場合には、下記にご記入ください。

助成を受ける機関	
助 成 金 額	円
用 途	
参 加 費	円
用 途	

研 修 会 日 程

- 1 研修会名：
- 2 開催日時：
- 3 場 所：

時 間	プログラム

日程表の見本

研修会日程

- 1 研修会名：第 〇回現地研修会「研修会テーマ 〇〇〇〇」
- 2 開催日時： 〇 年 〇 月 〇 日 () : 〇 ~ 〇 :
- 3 場 所：〇〇〇センター〇〇〇ホール

時 間	プログラム
12:30	受 付
13:00	開 会 式 司 会 〇〇町健康福祉課 課長 自治 一郎
13:10	<p>【開会挨拶】</p> <p>〇〇町 町長 〇〇〇〇</p> <p>公益財団法人地域社会振興財団総務課 課長 〇〇〇〇</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-top: 10px;"> <p>必ず財団挨拶の時間を 設けてください</p> </div>
14:50	<p>【講 演】</p> <p>「 〇〇〇〇 」</p> <p>自治医科大学地域医療学 教授 〇〇〇〇</p>
15:00	休 憩
16:00	<p>【パネルディスカッション】</p> <p>「テーマ： 〇〇〇〇 」</p> <p>コーディネーター 自治医科大学地域医療学 教授 〇〇〇〇</p> <p>パネリスト</p> <p>〇〇〇病院 院長 〇〇〇〇</p> <p>〇〇〇大学 教授 〇〇〇〇</p> <p>〇〇県〇〇健康福祉センター 所長 〇〇〇〇</p>
16:10	<p>閉 会 式</p> <p>【閉会挨拶】</p> <p>〇〇町〇〇協議会 会長 〇〇〇〇</p>

年 月 日

公益財団法人 地域社会振興財団
理事長 大石 利雄 様

機 関 名
所 属 名
役 職 名
責 任 者 名

印

現地研修会実績報告書

研 修 会 名	第 回 現地研修会							
開 催 日	年 月 日 () 時 分 ~ 時 分							
会 場								
テ ー マ								
ね ら い								
参 加 者 数	名							
参加者数の 職種別内訳	①医師	名	②歯科医師	名	③保健師	名	④助産師	名
	⑤看護師	名	⑥薬剤師	名	⑦管理栄養士	名	⑧歯科衛生士	名
	⑨理学療法士	名	⑩作業療法士	名	⑪言語聴覚士	名	⑫診療放射線技師	名
	⑬臨床検査技師	名	⑭救急救命士	名	⑮社会福祉士	名	⑯介護福祉士	名
	⑰精神保健福祉士	名	⑱介護支援専門員	名	⑲保育士	名	⑳行政職員	名
	㉑教員	名	㉒学生	名	㉓地域住民	名		
	㉔その他	名 (職種 :)
実施状況報告								
得られた効果を記入してください。								

収 支 計 算 書

(研修会名：第 回現地研修会)

(単位：円)

収 入 の 部		
科 目	金 額	内 訳
助 成 金	円	公益財団法人 地域社会振興財団の負担額
そ の 他	円	
合 計	円	

(注) その他には当財団以外からの助成金等についても記入してください。

(単位：円)

支 出 の 部		
科 目	金 額	内 訳
諸 謝 金	円	講師謝金 (名分)
旅費交通費	円	講師旅費 (名分) ※飛行機を利用した場合は、領収書を提出してください。
賃 借 料	円	会場使用料・器材使用料
	円	講師宿泊料
印刷製本費	円	テキスト代・ポスター代・チラシ代・看板代
消 耗 品 費	円	文具品等
	円	
委 託 費	円	
雑 費	円	講師等食事代
通信運搬費	円	切手代・宅配便代 ※送付先の一覧(様式自由)を添付してください。
合 計	円	

参 加 者 名 簿

(研修会名：第 回現地研修会)

No.	氏 名	職 種	勤務機関
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			

※個人情報の取り扱いについて

本研修会参加者名簿に記載された皆様の個人情報は、当該研修会にのみ使用させていただきますので、ご了承をお願いいたします。

ア ン ケ ー ト

さらに現地研修会をより良いものにしたいと思いますので、アンケートにご協力ください。

- 1 当財団の現地研修会に申し込んだ回数は何回ですか。
 - (1) ① 初めて ② 2回以上 (回目)
 - (2) ①と応えた方にお尋ねしますが、現地研修会はどちらからお知りになりましたか。
 - ① 現地研修会応募要項 ② 自治医大卒業生 ③ 自治医大教職員
 - ④ その他 _____
- 2 当財団の現地研修会を利用した理由について
 - (1) 開催経費の資金援助が必要であったため
 - (2) 現地研修会の開催趣旨に賛同したため
 - (3) その他 _____
- 3 現地研修会の利用について
 - (1) 再度利用したい
 - (2) 利用しない (理由 _____)
- 4 今回研修会の開催結果からして、目的の達成度はどのくらいですか。

達成度 _____ %

【達成できなかった主な理由及び改善点】

.....

.....

.....

- 5 地域で、新たに実施したい、或いは実施予定の事業等がありましたらお聞かせください。

.....

.....

.....

- 6 貴機関では、今後どのような研修会を開催したいと思いますか。また、必要としていますか。

.....

.....

.....

- 7 当財団に対するご意見、ご要望等がありましたらお聞かせください。

.....

.....

.....

講師謝金・旅費銀行振込依頼書

(研修会名：第

回 現地研修会)

★謝金等の振込・支払調書の送付にのみ
使用いたします。

銀行名 _____ 銀行

支店名 _____ 支店

預金種別 _____ 1 普通 2 当座 3 その他 (_____)

左詰めでご記入ください

口座番号

--	--	--	--	--	--	--	--

(キャッシュカードの番号とは異なる場合がありますので、
必ず通帳記載の番号を記入してください。)

フリガナ (カタカナで記入してください。)

口座名義

(口座は講師本人の名義に限ります。)

自宅住所

〒 _____

(電話番号) _____ - _____
(支払調書をお送りしますので、自宅住所を記入してください。)

勤務先名称

勤務先住所

〒 _____

(電話番号) _____ - _____

立 替 金 請 求 書

公益財団法人 地域社会振興財団 様

金 _____ 円

但し、第 _____ 回現地研修会開催に係る経費の立替金として

上記のとおり、領収書を添えて請求いたします。

年 月 日

機 関 名

住 所

役 職 名

氏 名

印

【振込銀行名等】

銀行名	銀行
支店名	支店
預金種別	1 普通 2 当座 3 その他 ()
口座番号	
(フリガナ)
口座名義	

(注) 請求者と口座名義が同一になるようお願いいたします。

当財団の名称を必ず入れてください

(公財) 地域社会振興財団 第〇〇〇回現地研修会

『 タイトルを入れてください 』

日 時：〇〇年〇〇月〇〇日 () 時 分 ~ 時 分

会 場：〇〇〇〇〇センター

主 催：〇〇県〇〇市

共 催：(公財) 地域社会振興財団

後 援：(学) 自治医科大学

当財団と(学) 自治医科大学の名称を入れてください

公益財団法人地域社会振興財団の紹介

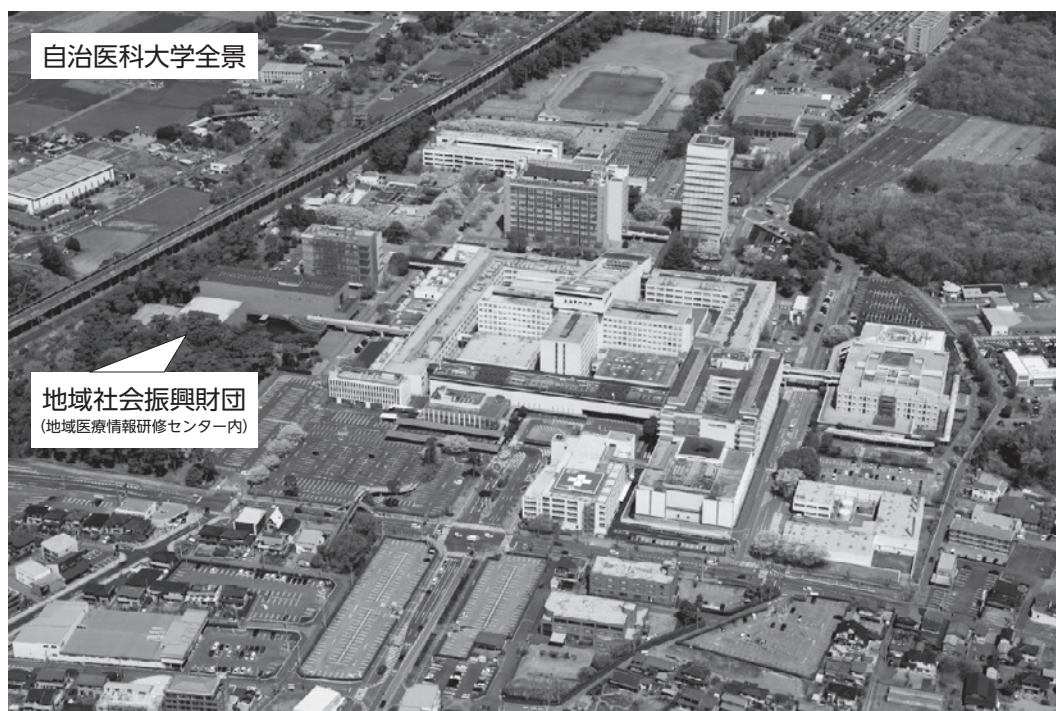
【設立の趣旨】

地域社会振興財団は、へき地などの地域社会がかかえる保健・医療・福祉等の諸問題について基礎的・総合的な研究を行い、そこで生活する人々が生きがいをもって健やかに暮らすことが出来る地域社会づくりに貢献し、地方自治の基盤の充実に寄与することを目的として、昭和47年12月に「財団法人へき地振興財団」の名称で設立されました。

以来、経済社会の動向を見つめながら、高齢化対策に積極的に取り組んでいる地方公共団体を支援するため、長寿社会づくりソフト事業費交付金交付事業を創設し、これを機に名称を平成元年4月に「財団法人地域社会振興財団」と改め、その後公益財団法人制度改革に伴う公益法人への移行認定を受けて、平成25年4月から「公益財団法人地域社会振興財団」として新たにスタートしました。

また、令和4年4月より、これまで30年以上実施していた長寿社会づくりソフト事業費交付金を改め、「人生100年時代づくり・地域創生ソフト事業交付金」とし、新たに少子化対策や地域創生の施策を実施する地方公共団体に対し、さらなる地域社会の基盤強化を拡充するためのソフト事業を支援しています。

今後もより一層、設立時の趣旨を踏まえつつ、地域社会における保健・医療・福祉の分野でのさまざまなニーズに応えるべく事業の充実に向けて邁進します。



【事業概要】

栃木県から発行される「地域医療等振興自治宝くじ」通称「レインボーくじ」の収益金を財源として次の事業を行っています。

◆ 調査研究事業（公益目的事業 1）

へき地など地域住民の疾病の特異性、病態生理とその原因等を明らかにし、それに対する有効な対策等を行うため「地域社会健康科学研究所」を設置し、環境医学研究部門、血液医学研究部門、保健科学研究部門、健康福祉計画研究部門、病態生理研究部門、情報システム研究部門の6研究部門及び実験医学センター並びにさいたま支所を置き、基礎的・総合的な調査研究を行うほか、同地域における高齢化、少子化の進行に対応した保健・医療・福祉に係る諸施設を支援するための事業です。

また、当研究所の調査・研究事業に必要な研究機器は、「難病及び希少難病に関する研究等」として、公益財団法人JKAからの補助金（競輪公益資金）により整備され、使用されています。

なお、整備された研究機器について、当研究所内において有効的に活用され、それらの研究成果については、毎年度「地域社会健康科学研究所報告集」として冊子化し、各都道府県等に配付しています。

◆ 研修事業（公益目的事業 2）

当財団では、自治医科大学と密接な連携のもとに各種研修会（中央研修会と現地研修会）を合せて年間30回程度開催しています。

また、地域住民を対象とした保健・医療・福祉等に関する意識向上のための研修や、地域医療が抱える様々な問題とその解決策を医療従事者等と地域住民とともに考え討議するフォーラムやシンポジウムを開催しています。

<中央研修会>

当研修会は、地域社会において保健・医療・福祉事業に携わる方々が、最新の医学知識と医療技術を習得することにより、地域住民が安心して生活することができることを目的に開催しています。

講師には、自治医科大学の教職員及びそれぞれの分野において活躍されている方々を招き、最新の医療情報の講義や技術の向上を図るための演習等を実施しています。

<現地研修会>

当研修会は、地方公共団体等が推進する健やかな長寿社会づくりに寄与することを目的に、地域住民の方々や地域社会において、保健・医療・福祉事業に携わる方々を対象として、保健・医療・福祉事業に関するテーマで、当該団体と当財団が共催の形を取り全国各地で開催しています。

<健康福祉プランナー養成塾>

地域住民の社会福祉・介護サービスを構想し、運営するコミュニティ・リーダーの育成を目的に、健康福祉行政等の企画立案に携わる地方公共団体等の保健師、医師、事務職員等を対象に、保健・医療・福祉に関する専門知識の理解と、優れた企画立案能力を習得するため、職種横断的な研修会を開催しています。

＜地域医療を考える県民フォーラム＞

深刻化する医師不足等の地域医療に関する現状及び課題について、行政、医療関係機関、住民等が認識を共有し、自らの地域のあり得べき地域医療について主体的かつ建設的に考えるフォーラムを開催することによって、開催県における地域医療の充実確保に寄与するとともに、地域が一体となって自らの地域医療について考える全国的なモデル事業としての役割を果たすことを趣旨・目的としています。

＜地域医療を守り育てる住民活動全国シンポジウム＞

このシンポジウムは、地域医療の課題を解決するには地域住民の理解や協力などの「住民の力」や、住民の主体的活動が重要であることを共通の認識とすること、住民と地方自治体行政との相互理解・協働が不可欠であることの認識を共有し、また、そのような住民の団体（住民グループ・NPO法人等）が全国的な連携をとれるようなネットワークづくりを目的として開催しています。

◆ 交付金交付事業（公益目的事業 3）

＜人生100年時代づくり・地方創生ソフト事業交付金交付事業＞

地方公共団体等が行う「人口減少・少子高齢化の進展に対処するための施策及び東京圏の人口集中を是正し、地方で安心して、子どもを産み育て、暮らすことができる環境を確保するための施策」の実現に資する事業を支援するために交付金を交付しています。

＜整備拡充事業費交付金交付事業＞

へき地等の地域医療の先駆的な役割を担っている自治医科大学の教育及び研究に欠くことのできない施設設備や研究機器などの整備拡充を支援するため、交付金を交付しています。

令和7(2025)年度 地域医療等振興自治宝くじ(レインボーくじ)発売計画

回号	発売期間	発売目的
435	R7/7/9 ~ R7/8/5	全国の人生100年時代づくり・地域創生ソフト事業の財源とするため
436	R7/8/12 ~ R7/9/2	全国の人生100年時代づくり・地域創生ソフト事業の財源とするため
437	R7/9/3 ~ R7/9/23	地域振興等のため設立された学校法人自治医科大学の整備に要する財源とするため
438	R7/10/8 ~ R7/11/4	全国の人生100年時代づくり・地域創生ソフト事業の財源とするため
439	R7/11/5 ~ R7/12/2	地域振興等のため設立された学校法人自治医科大学の整備に要する財源とするため



宝くじ公式サイト



レインボーくじ1枚から社会貢献ができます！
<https://www.takarakuji-official.jp/>

【問合せ先】 公益財団法人 地域社会振興財団 事務局研修係
 〒329-0498 栃木県下野市薬師寺3311-160
 自治医科大学地域医療情報研修センター内
 TEL 0285-58-7436 FAX 0285-44-7839
 E-mail genchi@zcssz.or.jp URL <https://www.zcssz.or.jp/>

看板の見本

会場入り口及び会場内に設置願います。

〔地域社会振興財団 第 回 現地研修会〕

「タイトルを入れてください」研修会

主催：〇〇〇〇町

〇〇〇〇

共催：(公財) 地域社会振興財団

後援：(学) 自治医科大学

〔地域社会振興財団 第 回 現地研修会〕

「タイトルを入れてください」研修会

主催 〇〇〇〇町

〇〇〇〇

共催 (公財) 地域社会振興財団

後援 (学) 自治医科大学

中央研修会のご案内



令和6年度保健活動研修会 研修風景

当財団の研修事業では、今回ご案内申し上げました現地研修会の他に「中央研修会」と称し、保健・医療・福祉事業に関する研修を、医師、保健師、看護師、医療技術者等の地域医療従事者を対象として、昭和50年(1975年)から自治医科大学内の地域医療情報研修センターで開催しております。

詳しくは、「令和7年度中央研修会募集要項」又はホームページをご覧ください。

URL <https://www.zcssz.or.jp/>



令和7年度中央研修会の開催日程

No	研 修 会 名	研 修 期 間	定員
1	第3回 看護補助者の活用推進のための看護管理者研修会	5月21日(水)	30
2	第43回 診療放射線技師研修会	6月 5日(木)～7日(土)	40
3	第43回 薬剤師研修会	6月 12日(木)～13日(金)	60
4	第10回 栄養管理研修会	6月 20日(金)～21日(土)	60
5	第50回 臨床検査技師研修会	6月 26日(木)～27日(金)	80
6	第23回 健康企画・評価研修会	7月 31日(木)～8月1日(金)	20
7	第44回 保健活動研修会	8月8日(金)～10日(日)	20
8	第3回 看護師特定行為研修修了者スキルアップ研修会	8月29日(金)	30
9	第43回 健康学習研修会	9月4日(木)～5日(金)	20
10	第21回 口腔ケア研修会	10月 3日(金)～4日(土)	48
11	第5回 災害保健研修会	10月18日(土)～19日(日)	20
12	第25回 リハビリテーション研修会	10月30日(木)～31日(金)	40
13	第48回 スタッフ育成・管理担当者研修会	11月 7日(金)～8日(土)	40
14	第1回 災害薬事研修会	11月14日(金)	30

レインボーくじ

全国の宝くじ売り場
または
宝くじ公式サイト
(ネット)から
購入できます!

魅力ある地域社会づくりのため 自治医大の施設・設備の整備のため

宝くじ1枚から貢献できます! 是非レインボーくじをお買い求めください!!

レインボーくじの収益金を財源として、主に次の事業を行っています!

- 保健・医療・福祉事業に携わる方を対象に最新の医学知識と医療技術を習得いただくことを目的に「**中央研修会**」を開催しています。
- 地域社会における保健・医療・福祉に関するテーマの研修会を開催する地方公共団体等に研修会を支援するために交付金を交付しています。「**現地研修会**」
- 地方公共団体等が行う「**少子高齢化社会対策や地域創生などの施策**」の実現に**資する事業**を支援するために交付金を交付しています。
- 自治医科大学**の教育・研究に欠くことのできない**施設設備の整備**を支援するために交付しています。

※詳しくは地域社会振興財団HPをご覧ください。



地域社会振興財団HP

令和7(2025)年度 地域医療等振興自治宝くじ(レインボーくじ)発売計画

回号	発売期間	発売目的
435	R7/7/9 ~ R7/8/5	全国の人生100年時代づくり・地域創生ソフト事業の財源とするため
436	R7/8/12 ~ R7/9/2	全国の人生100年時代づくり・地域創生ソフト事業の財源とするため
437	R7/9/3 ~ R7/9/23	地域振興等のため設立された学校法人自治医科大学の整備に要する財源とするため
438	R7/10/8 ~ R7/11/4	全国の人生100年時代づくり・地域創生ソフト事業の財源とするため
439	R7/11/5 ~ R7/12/2	地域振興等のため設立された学校法人自治医科大学の整備に要する財源とするため



宝くじ公式サイト

案内図



- ・ JR宇都宮線「自治医大駅」下車、徒歩10分または接続バスで5分。
- ・ 東北新幹線を利用の場合は、「東京方面からは小山駅」、
「東北方面からは宇都宮駅」で下車し、JR宇都宮線の普通電車で乗り換え。

連絡先

〒329-0498 栃木県下野市薬師寺3311-160
公益財団法人 地域社会振興財団 事務局研修係
TEL 0285-58-7436
FAX 0285-44-7839
E-mail genchi@zcssz.or.jp